

藻原寺の大絵馬

(NO. 350)
平成26年10月

この8月、新たに市指定有形文化財に藻原寺大堂の大絵馬「韓信の股潜り」が指定された。藻原寺の大堂には3点の大絵馬が現存する。ともに、2m×3m程もある大型の絵馬で、藻原寺大堂の大きな空間に相応しく、堂々と参拝者を迎えている。



藻原寺 大堂

今回指定されたのは、この内の1点で「片岡休川」の銘がある。片岡は、地引村(現長南町)出身で絵師で歌人でもあった白井休盛の門人で

ある。

残念ながら制作年は特定できないが、江戸時代後期〜末期と推定される。他の2点は「源頼光大江山鬼退治」「源為朝椿説弓張月」で、ともに同時期の作と推定される。

いずれも経年の劣化は見られるものの、制作当初から室内で展示されていたため、どれも良好な保存状態で、色彩もしっかりと残っており、美しい。

この「韓信の股潜り」は、長じて高名な武将となる韓信が無名の頃、町でならず者に言いがかりをつけられ、耐えてその股を潜ったという故事から、大望を持つ者は目先のつまらないことで人と争つたりしない事のたとえとして知られる。

その主題に相応しく、力強くダイナミックな描線と、明快な構図が特徴の秀逸な作品である。人物の動きや表情も

的確に表現され、作者の自信に満ちた筆さばきが随所に見て取れる。絵画作品としての完成度も非常に高く、この時代の絵画的雰囲気をよく伝えている。

白井一門は地域文化の重要な担い手であった。その門下である片岡休川が非凡な才能を持つ絵師であったことをこの絵馬で伺い知ることが出来る。

それと同時に、私たちの住むこの地域の文化的成熟度を物語る資料としても、その価値は非常に高いと言えるだろう。



茂原市指定有形文化財
藻原寺大堂の大絵馬「韓信の股潜り」

茂原市文化財審議会委員

齊藤 望

文芸コーナー

俳句

早苗田を見納めてはや初稲穂

風戸 善江

秋津島船縁を打ついすみ川

高橋 良昌

短歌

突然に朝の空気を打ち破り

金網 あき子

陽の陰に甘き香の野の花よ
薄紅色の花の優しき

山本 明美

旅先で遠い昔の思い出を

仲村 美年子

秋刀魚みて大根少しとスタチ買い
家路を急ぐ心はずむ

時女 礼子

川柳

稲叢が見られぬ里の祭り笛

大井 康章

個人情報気付いて見れば丸裸

大久保 稔

医療費も寿命も伸びて課題増え

小野 興四法

古希仲間奴が生きてる安堵感

横田 清

リハビリの汗は明日を疑わず

大野登志子

痩せてきて昔の服が着れる辛

河野美津子

理不尽をグット呑み込む苦情処理

押野三枝子

接待の真髓感じゆく遍路

さかき 莫風



●偶数月は「俳句・短歌・川柳」を、奇数月は「詩」を掲載しています。

●投稿は楷書をお願いします。

※俳句、短歌、川柳の原稿送付先

〒297-8511 茂原市道表1番地 茂原市役所秘書広報課宛「文芸コーナー」と朱書きしてください。